

NEC cotomi Agent(ブラウザ拡張機能)

プライバシーポリシー

本サービスのご提供形態について

本ブラウザ拡張機能「NEC cotomi Agent」(以下「本拡張機能」)は、日本電気株式会社(以下「NEC」)が提供するサービスです。本サービスは、日本国内の利用者に対して提供します。

本拡張機能の目的は、「利用者の指示に基づき、業務 Web システムに対するブラウザ操作を自動化・代行し、業務効率化を支援すること」に限定されます。この目的以外のために、本拡張機能が情報を取得・利用することはありません。

アカウントによるサインインが行われていない状態では、本拡張機能は動作を開始せず、利用者の個人情報を含む情報の収集・送信・保存は一切行われません。

本拡張機能は、単体でダウンロード・インストールしても、機能をご利用いただくことはできません。

本拡張機能をご利用いただくためには、利用者の皆様が所属する企業・団体(以下「ご所属先」)と、NEC との間で本サービスに関する契約を締結いただく必要があります。契約に基づき、ご所属先を通じてアカウントが発行されることで、はじめて本拡張機能をご利用いただけます。

このような提供形態のため、本拡張機能は、ご所属先の従業員である利用者の皆様にご利用いただくことを前提としたサービスです。

個人情報の取扱主体と本ポリシーの位置づけ

上記のご提供形態に伴い、本拡張機能の利用に関して取り扱われる個人情報については、日本の個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）上、以下の役割分担のもとで取り扱われます。

立場	該当者	役割
個人情報取扱事業者 (委託元)	ご所属先	利用者の個人情報を取り扱う主体
委託先	NEC	ご所属先から委託を受け、 本拡張機能および関連するバックエンドを提供・運用

したがって、利用者の皆様に対する個人情報の利用目的等の告知や、開示・訂正・利用停止等のご請求への一次的な対応は、個人情報取扱事業者であるご所属先が行います。

本ポリシーは、以下の目的で公開するものです。

(a) 拡張機能の提供者としての説明責任

Microsoft Edge アドオンストアおよび Chrome ウェブストアの規約に基づき、本拡張機能の提供者である NEC が、本拡張機能において取得・利用する情報の内容を、利用者の皆様に対して透明性をもって開示すること

(b) 委託先としての取扱いの明示

委託先である NEC が、本拡張機能および関連するバックエンドにおいて、技術的にどのように個人情報を取り扱うかを明らかにすること

なお、ご所属先が定める個人情報保護方針・利用目的等の告知内容(ご所属先が NEC から受領したサンプルを基に作成したものを含みます)については、ご所属先の窓口にお問い合わせください。

1. 本拡張機能の提供者

項目	内容
提供者	日本電気株式会社(NEC)
所在地	神奈川県川崎市中原区下沼部 1753
個人情報保護管理者	AIソリューション統括部長

2. 本拡張機能が実行する「行動」の範囲

本拡張機能は、利用者の指示に基づき、利用者のブラウザ操作を代行して、以下のような「行動(操作)」を業務システム等の Web サイトに対して実行します。

- 業務システム画面へのデータ入力
- フォームの送信
- ファイルのダウンロード
- ページ遷移、要素クリック等のブラウザ操作

これらの行動は、以下の制約のもとで行われます。

- 利用者がブラウザでログイン中の業務システムに対してのみ実行されます。本拡張機能自体が、業務システムへのログイン情報を保有・使用することはありません。
- 利用者に付与されている当該業務システム上の権限の範囲内で実行されます。
- 「伝授機能」で登録するコマンドは、利用者がプロンプト(コマンドの中身)を確認・編集した上で保存する仕組みであり、利用者が想定していない動作を行うことはありません。
- 利用者がログアウトしている状態、またはブラウザを起動していない状態では、本拡張機能が業務システムへアクセスすることはありません。

3. 取り扱う情報の項目

本拡張機能および関連するバックエンドでは、以下の情報を委託を受けて取り扱います。

3.1 利用者が直接入力・登録する情報

- ユーザ ID:メールアドレス
- 「伝授機能」で記録される操作内容
 - 操作対象の Web ページの URL およびページ内容
 - 操作対象の DOM 要素の情報(要素種別・位置・属性等)
 - 入力・選択したテキスト等の内容
 - 操作の順序・タイミング
- 自動操作の指示文(自然言語で入力されたテキスト)
- スラッシュコマンド/ルール of 名称・内容・パラメータ
- 定期実行スケジュールの設定情報(実行時刻、対象コマンド等)
- 利用者による任意の設定情報
- ピン留めショートカットとして登録するサイト情報(利用者が「よく訪問するサイトをインポート」機能を利用した場合)
- お問い合わせ時にご提供いただく情報(氏名、連絡先、お問い合わせ内容)

3.2 サービス利用時に自動的に取得される情報

本拡張機能が自動的に取得する情報の項目・目的・取得タイミングは以下の通りです。

取得情報	取得目的	取得タイミング
閲覧中ページの情報 (HTML、記事本文等)	自動操作の対象ページの理解	自動操作の実行時
ブラウザ・タブ状態 (ページメタ情報、タブ・ウィンドウの識別子、ビューポート情報等)	操作対象の識別・制御	自動操作の実行時
DOM 要素の構造情報	操作可能な要素の識別	自動操作の実行時
アクセシビリティツリー (AXtree) 情報	操作対象要素のセマンティックな識別	自動操作の実行時
スクリーンショット	実行結果の確認・障害解析	自動操作の実行時
エージェント操作イベント	自動操作の実行結果の記録	自動操作の実行時
ユーザ操作イベント (クリック、キー入力等)	伝授機能による操作の記録	伝授機能起動時のみ
認証・セッション情報 (JWT トークン、セッション ID)	ログイン状態の維持	常時
通信情報 (IP アドレス、ブラウザ種別・バージョン、OS 情報)	セキュリティ対策・通信品質確保	通信発生時
利用ログ (アクセス日時、利用機能、リクエスト内容、実行結果、エラー情報)	サービス運用・障害対応	サービス利用時
会話履歴	AI(LLM)とのやりとりの記録	AI 機能利用時
監査ログ (操作履歴、設定変更履歴)	セキュリティ・コンプライアンス対応	各操作時
Chrome 標準の「よく訪問するサイト」リスト	サイドパネル上部の「ピン留めショートカット」への初期登録	利用者が「よく訪問するサイトをインポート」ボタンを押したときのみ(1 回限り)

3.3 取得しない情報

本拡張機能は、以下の情報については取得しません。

- IP アドレスから推定される位置情報(IP アドレスからの位置情報推定処理は行っていません)
- タイムゾーン設定
- ISP(インターネットサービスプロバイダー)情報
- 確率的識別子(ブラウザフィンガープリント等)
- 検索履歴
- 閲覧履歴(伝授機能・自動操作の実行時以外の、利用者による通常のブラウザ閲覧行動)
- 利用者が伝授機能を起動していない間のクリック・キー入力等の操作情報

なお、「定期実行」機能の実行トリガー・実行間隔・コマンド名称等のメタ情報は、利用者が能動的に登録する情報であり、本拡張機能が受動的に取得する情報ではありません。

3.4 利用者の端末(ローカルストレージ)に保存される情報

本拡張機能は、以下の情報を利用者の端末のブラウザストレージに保存します。

- 認証トークン
- ユーザ設定情報
- 一時的な操作状態

これらの情報は、ブラウザ拡張機能のプラットフォーム仕様に基づき、利用者が本拡張機能をブラウザから削除(アンインストール)した際に、本拡張機能のディレクトリとともにすべて自動的に削除されます。利用者の端末上に、本拡張機能に関連するアプリケーションおよびデータが残ることはありません。

3.5 業務システムとのデータ授受

本拡張機能は、業務システムとの間で明示的な API 連携等を行いません。あくまで利用者のブラウザを介した操作代行の形態でのみ、業務システムとやりとりを行います。

送受信の対象となるデータは以下の通りです。

- 送信データ: フォーム入力値、画面遷移・クリック等の操作指示
- 受信データ: 画面に表示される情報

パスワード入力欄(HTML の `input[type=password]` 等のパスワード要素)に関する情報は、本拡張機能では送受信の対象としません。パスワード入力が必要な場面では、利用者ご自身に入力操作をお渡しします。

業務システムへのアクセスは、都度、利用者の指示に基づいて発生します。継続的アクセスは行われません。

3.6 業務システム上に表示される情報について

本拡張機能の「伝授機能」および「自動操作」機能は、利用者が業務で使用する Web システムの画面を対象として動作します。そのため、対象システムの画面上に表示される情報(ご所属先が業務上取り扱っている顧客・取引先等に関する情報を含みます)が、本拡張機能を通じて処理される場合があります。

これらの情報は、ご所属先が個人情報取扱事業者として既に保有・管理している情報であり、NEC はご所属先からの委託に基づき、本拡張機能の提供に必要な範囲で技術的に処理します。NEC がこれらの情報を第三者に提供することはありません(本ポリシー「6. 第三者提供について」をご参照ください)。

4. 使用するブラウザ権限

本拡張機能は、機能提供に必要な権限のみを宣言・使用しています。

宣言している内容は以下の通りです。

4.1 permissions(ブラウザ API 権限)

権限	用途
activeTab	利用者が現在アクティブにしているタブの情報取得(自動操作対象の特定)
scripting	対象タブへのコンテンツスクリプト注入(DOM 操作の実行)
tabs	タブの状態把握、タブ間連携
tabGroups	タブグループの管理
storage	利用者設定・認証トークン等のブラウザローカルへの保存
unlimitedStorage	スラッシュコマンド／ルール等の大容量保存
topSites	利用者がサイドパネル上部の「ピン留めショートカット」に、Chrome 標準の「よく訪問するサイト」リストを取り込むために使用します。利用者が「よく訪問するサイトをインポート」ボタンを押したときのみ発火し、一度登録された後は使用しません。詳細は本ポリシー第 4.3 章をご参照ください。
notifications	実行結果・エラー等の利用者への通知
windows	ウィンドウ制御・状態管理
sidePanel	サイドパネル UI の提供
webNavigation	ページ遷移の把握(伝授機能・自動操作の実行時)
alarms	「定期実行」機能のスケジュール発火
debugger	自動操作機能の実行時に、利用者に代わって業務システムを操作するために使用します。本拡張機能では、ネイティブ UI 要素(<select>ドロップダウン、<input type=file>等)の操作、動的に生成される iframe を含む全フレームへの到達、およびアクセシビリティツリー(AXtree)に基づく要素識別のため、Chrome DevTools Protocol を利用しています。使用は自動操作の実行時に限定され、常時動作するものではありません。詳細な技術的背景については本ポリシー第 4.4 章をご参照ください。
offscreen	オフスクリーンドキュメントでの処理
downloads	ファイルダウンロード操作の実行

4.2 host_permissions(対象ホスト権限)

ホスト権限	用途
<all_urls>	業務システムがご所属先ごとに多岐にわたり、対象 URL を事前に列挙できない性質上、全 URL に対する権限を宣言しています。実際の情報取得・操作は、利用者が明示的に伝授機能または自動操作を起動した対象タブに限定されます。

4.3 topSites 権限の使用に関する補足

topSites 権限は、ブラウザ内に保持されている「よく訪問するサイト」情報にアクセスできる権限のため、本節で使用目的と発火条件を補足します。

4.3.1 使用目的

本拡張機能は、サイドパネル上部に「ピン留めショートカット」機能を提供しています。この機能は、利用者が業務でよく利用するサイトへ素早く遷移できるようにするためのものです。初期セットアップの利便性向上のため、Chrome 標準の「よく訪問するサイト」リストをインポートする手段を提供しており、そのために topSites 権限を使用します。

4.3.2 発火条件および使用範囲

- **発火条件:**利用者がサイドパネル上の「よく訪問するサイトをインポート」ボタンを明示的に押した時のみ、topSites API が呼び出されます。
- **常時取得しない:**本拡張機能は、topSites 権限を用いてバックグラウンドで継続的に閲覧履歴を監視することはありません。
- **一度のみ:**インポート実行後は、その利用者について再度 topSites を使用することはありません。
- **取得情報の送信:**インポート結果は、利用者のピン留めショートカット設定として保存されます。

4.4 debugger 権限の使用に関する技術的補足

debugger 権限は、ブラウザ拡張機能の中でも高い権限を要するため、本節で使用目的および代替手段では実現不可能な理由を補足します。

4.4.1 使用目的

本拡張機能は、debugger 権限(Chrome DevTools Protocol)を、以下の目的で使用しています。

- **本物のユーザ操作と同等の入力の合成:** ネイティブ `<select>` ドロップダウン、`<input type=file>` ピッカー、パスワードマネージャー連携、および一部のフレームワーク(React/Vue 等)の制御コンポーネントは、`isTrusted === false` の合成イベントを拒否する仕様となっています。`Input.dispatchEventMouseEvent` および `Input.dispatchEventKeyEvent` は、ブラウザの入力キューに直接投入される、本物のユーザ操作と区別されないイベントを生成でき、これは他のブラウザ拡張機能 API では実現できません。
- **クロスオリジン iframe を含む全フレームへの到達:** 動的に生成される iframe、sandboxed iframe、およびコンテンツスクリプト注入前のフレームに対しても、`Runtime.evaluate / Page.getFrameTree` を用いてフレーム構成を列挙し、任意フレームの JavaScript 実行コンテキストに介入することが可能です。
- **アクセシビリティツリー(AXtree)の一括取得:** `Accessibility.getFullAXTree` により、DOM API では取得できないセマンティック情報(role、name、description、Shadow DOM 内部要素を含む)を一度に取得し、操作対象要素の正確な識別を行います。
- **非アクティブタブを含むスクリーンショット取得:** ビューポート・解像度を指定した画面キャプチャを行い、実行結果の確認と障害解析に使用します。
- **DOM ノード参照の解決および一括スナップショット:** 操作対象要素の識別に必要な DOM ノード情報を、フレーム境界を越えて一括で取得します。

4.4.2 代替手段(scripting / tabs / activeTab)では実現不可能な理由

実現したい機能	scripting / tabs / activeTab での制約
本物のユーザ操作と同等の入力の合成	chrome.scripting.executeScript から発火できるのは element.dispatchEvent(new MouseEvent(...)) 等の合成イベント(isTrusted === false)に限られ、ネイティブ UI 要素、パスワードマネージャー連携、一部のフレームワーク制御コンポーネントが拒否します。
動的生成 iframe・sandboxed iframe への到達	executeScript は、コンテンツスクリプトが実際に注入されたフレームの JavaScript 実行コンテキストに限定され、動的生成・タイミング上注入前のフレーム、および sandboxed iframe には届きません。
AXtree の一括取得	DOM API(document.querySelector 等、コンテンツスクリプトから利用可能な API)や、コンテンツスクリプト経由の走査では、Shadow DOM 内部要素を含むセマンティック情報を単一コールで取得することはできません。
他タブ内部の DOM 構造・レンダリング内容の取得	tabs / activeTab API はタブの作成・切替・URL 取得等のライフサイクル管理を目的とした API であり、ページ内部の DOM 構造・アクセシビリティ情報・レンダリング内容を取得する手段を持ちません。
ネイティブ <select> ドロップダウン等の操作	合成イベントでは操作できず、Input.dispatchEventMouseEvent 等の本物のイベント合成が必要です。

4.4.3 使用頻度と範囲

debugger 権限の使用は、利用者が明示的に自動操作機能を実行したときに限定されます。個別のアクション(クリック、入力、要素取得等)ごとに使用しますが、自動操作を行っていない間は本権限を使用しません。常時バックグラウンドで動作するものではありません。

5. 情報の利用目的

NEC は、取得した情報を、ご所属先からの委託の範囲内で、以下の目的のために利用します。

5.1 本拡張機能・関連バックエンドの提供・運用

- 利用者の認証、セッション管理およびアクセス制御
- 「伝授機能」による利用者操作のコマンド化・保存
- 「自動操作」機能によるブラウザ操作の実行
- 「定期実行」機能によるスケジュール実行(実行時刻・対象コマンドは利用者がいつでも編集・削除可能)
- スラッシュコマンドおよびルールの編集・配布・管理
- サイドパネル上の「ピン留めショートカット」の登録・表示

5.2 サービスの維持・改善

- 障害の検知・解析・復旧
- サービスの品質向上および機能改善のための統計的分析
- 利用状況の把握および利用者への通知

5.3 セキュリティ対策

- 不正アクセス・不正利用の検知および防止
- セキュリティインシデントへの対応
- アカウントの不正使用の防止

5.4 お問い合わせ対応・サポート

- 問い合わせへの回答および技術サポートの提供
- 障害・メンテナンス情報のご連絡

5.5 契約・法令遵守

- ご所属先との契約に基づくサービス提供状況の管理・報告
- 法令等に基づく対応

5.6【重要】AI(LLM)モデルの学習への非利用

本拡張機能は AI 技術(大規模言語モデル:LLM)を利用しますが、NEC は、利用者から取得した情報(伝授機能で記録された操作、指示文、コマンドの引数、会話履歴等)を、**AI 基盤モデルの学習には一切利用しません**。本サービスで利用している AI(LLM)基盤は、その仕様上、お客様データが基盤モデルの学習に使用されない設計となっています。

5.7 情報の限定的使用について

NEC は、本拡張機能を通じて取得した情報について、以下の使用を行いません。

- 広告表示または広告ターゲティングのための利用
- 第三者への販売または移転(本ポリシー第 6 章に定める場合を除く)
- 本ポリシーに定める利用目的の範囲を超えた利用
- 開発・保守・障害対応・法令対応の目的を除く、NEC 従業員による内容の閲覧

6. 第三者提供について

NEC は、委託元の指示がない限り委託元からお預かりした個人情報を第三者に提供することはありません。

7. 委託・再委託について

NEC は、ご所属先からの委託に基づき本拡張機能を提供するにあたり、本サービスの提供に必要な範囲で、クラウド基盤等について再委託を行う場合があります。NEC は、これらの再委託先に対しても、個人情報の適正な取扱いを確保するために必要かつ適切な監督を行います。

8. データの保管場所

本拡張機能および関連するバックエンドで取り扱う個人情報は、**日本国内のデータセンター** に保管されます。

9. データ分離について

本拡張機能では、ご所属先ごとに設定される「テナント」の単位で、データが論理的に分離された状態で管理されます。テナントは、ご所属先との契約内容に応じて、企業単位または部門単位で設定されます。異なるテナントの利用者間で、データが相互に参照されることはありません。

10. 情報の保存期間

NEC は、取得した情報を以下の期間保存します。

情報の種類	保存期間
会話履歴・操作履歴	2 年間
アプリケーションログ	2 年間
アクセスログ	2 年間
監査ログ	2 年間
認証トークン(セッション情報)	セッション終了時または有効期限まで
ユーザ設定情報・スラッシュコマンド・ ピン留めショートカット	NEC とご所属先との契約終了時まで
お問い合わせ記録	お問い合わせ対応完了後、必要な期間
利用者の端末のブラウザストレージに保存される情報 (認証トークン、ユーザ設定情報、一時的な操作状態)	本拡張機能のアンインストール時に自動的に削除

保存期間を経過した情報、および NEC とご所属先との契約が終了した後の情報は、順次削除または個人を識別できない形式への加工を行います。

11. 安全管理措置

NEC は、本拡張機能および関連するバックエンドにおける個人情報の漏えい、滅失または毀損の防止その他の個人情報の安全管理のために、以下の措置を講じています。

11.1 組織的安全管理措置

- ・ 個人情報保護管理者の設置
- ・ 個人情報の取扱いに関する規程の整備・遵守
- ・ 取扱状況の点検および内部監査の実施
- ・ インシデント対応体制の整備

11.2 人的安全管理措置

- ・ 従業員および再委託先に対する秘密保持義務
- ・ 個人情報保護に関する定期的な教育・研修

11.3 物理的安全管理措置

- サーバー等が設置されたデータセンターの入退室管理
- 機器・媒体の盗難防止措置

11.4 技術的安全管理措置

- 通信の暗号化:HTTPS/TLS 1.2 以上、WebSocket Secure(WSS)
- 保存データの暗号化:データベース暗号化
- 認証・アクセス制御:OIDC(OpenID Connect)認証、JWT 二重検証、短命トークン
- テナント単位のデータ分離(論理的分離)
- WAF(Web アプリケーションファイアウォール) による防御
- 脅威検知の実施
- 監査ログの取得・保存
- 不要データの定期削除

12. 情報提供の任意性

本拡張機能への情報の提供は任意です。ただし、必要な情報をご提供いただけない場合、本拡張機能の全部または一部をご利用いただけない場合があります。

13. 共同利用について

現時点で、NEC は本拡張機能に関連する個人情報の共同利用は行っておりません。今後、共同利用を行う場合は、事前に本ポリシーを改訂し、公表または個別に通知します。

14. 自動意思決定について

本拡張機能は AI(LLM)を用いたブラウザ自動操作を行います。これらの処理は利用者の指示に基づく作業の代行であり、利用者に法的効果を生じさせる、または重大な影響を及ぼす自動的な意思決定は行いません。実行結果は利用者が確認・判断する前提で提供されます。

15. 本拡張機能の停止・削除および利用者データの削除

15.1 本拡張機能の動作停止

本拡張機能の動作を停止するには、以下の方法があります。

- **一時的な停止**: ブラウザの拡張機能管理画面から本拡張機能を「無効化」する
- **完全な停止**: ブラウザから本拡張機能を「アンインストール」する

アンインストール時には、本拡張機能に関連するブラウザローカルストレージ上のデータ(認証トークン、利用者設定情報、一時的な操作状態)はすべて自動的に削除されます。

15.2 NEC バックエンド側のデータの削除

本拡張機能は、ご所属先(利用者の雇用主等)と NEC との契約に基づき、ご所属先の従業員である利用者に提供されるサービスです。この構造上、利用者ご自身のデータについては、個人情報取扱事業者であるご所属先が一次的な窓口となります。

NEC バックエンド側に保存されている情報の削除をご希望の場合は、ご所属先の個人情報保護窓口(本ポリシー第 16 章参照)を通じて、削除をご請求いただけます。ご所属先の窓口から NEC への削除依頼がなされ次第、NEC は速やかに対応いたします。

なお、ご所属先の窓口が対応困難な場合、または一定期間経過しても対応がなされない場合は、直接 NEC のお問い合わせ窓口(第 16 章参照)までご連絡ください。

16. お問い合わせ・ご請求窓口

本拡張機能に関して、以下のご請求・お問い合わせがある場合、下表の窓口までご連絡ください。

ご請求・お問い合わせの内容	窓口
個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止、消去、第三者提供の停止等のご請求	委託元の個人情報保護窓口
本拡張機能の技術的な内容、動作に関するお問い合わせ	NEC(下記参照)
ご所属先の窓口にご連絡いただいたが対応がなされない場合	NEC(下記参照)

なお、ご所属先の窓口が不明な場合は、所属先の人事・情報システム担当部門等にお問い合わせください。

【NEC お問い合わせ窓口】

- ・ 窓口名:NEC cotomi Agent サポート窓口
- ・ メールアドレス:sales-promo@cotomi-agt.jp.nec.com
- ・ 受付時間:平日 9:00～17:00(NEC 営業日)

17. 本ポリシーの改訂について

NEC は、法令等の改正、サービス内容の変更等に応じて、本ポリシーを改訂する場合があります。改訂後のポリシーは、Microsoft Edge アドオンストアおよび Chrome ウェブストアに掲載する形で公表します。重要な変更については、本拡張機能内での通知等、適切な方法により周知します。

制定日:2026 年 7 月 10 日

最終改定日:2026 年 7 月 10 日

版数:1.0

発行者:日本電気株式会社